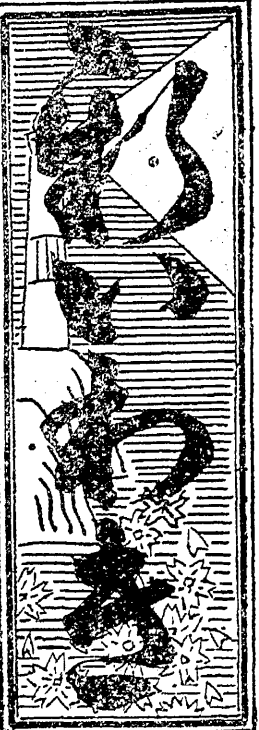


【刊夕日五十二月二】



休日曜大祭日
一頁五銭
二頁十銭
三頁十五銭
四頁二十銭
五頁二十五銭
六頁三十銭
七頁三十五銭
八頁四十銭
九頁四十五銭
十頁五十銭

火災は戸数も損害も

少なくなつた好傾向

平署管内昨年中の成績

三萬八百八十六圓を減少

平署管内昨五年中に於ける火災数は二十件で此の焼失損害左記の如く時期から云へば矢張り秋から冬にかけて多く原因は提灯の置き忘れ燈明の流火及び

火鉢や 爐火の不注意が各二件づゝ最も多いのは風呂場の不仕末三件で電

戸や煙突のもれ火並に取灰や燐寸の各一件その他不明が各二件になつてゐるが之れを

前年に 比較すると

度數に於て七度損害で三萬八百八十六圓七十銭を減少したことは防火思想の普及せる結果と見られ尙ほ火災の爲めに消防手四名外一名の負傷者を出した

全焼住家一七戸十九棟

非住家三棟、半焼住家一戸一棟、非住家二棟、燻失坪數住家五〇五四七坪、非住家三四九五坪

▲損害住家一萬三千六百六十五圓、非住家六千六百三十六圓、物産三萬七千三百三十三圓▲合計五

警崎村の 補欠選挙

三井の休山で 不足した議員

不足した議員

石城郡警崎村は三井炭礦の休山で轉住議員十名の失格を出し尚ほ人口が激減した爲め従來二十四名の議員を十八名に減することになつたが夫れでも四名の村議が足りないの爲め三月五日補缺選挙を執行の筈であるが各大字共未だ立候補せるものなく大した競争はないであらうと

農會費を 不納の村

郡農會の負 擔も數年間

擔も數年間

石城郡玉川村農會では數年來郡農會の負擔金を滞納してゐるが愈々行詰つた本年村費の補助を申請したるに對し何側でも地元の不況を以てしては

小川江筋の 新豫算

一三三三〇圓

一三三三〇圓

既報石城郡小川江筋組合の總會は二十四日午前十時から平町團體事務所で開催された明年度豫算は一萬四千二百一十圓の提案を一萬三千三百八十圓に修正され

近年珍らしい現象

鮪網に鯉が 混る

鮪網に鯉が 混る

石城郡に於ける本年の鯉漁うした現況であるに拘らずに農林省の補助船江名町中最近ビン長鮪網に五本乃至の作吉田淳氏が新造する鐵十本の鯉が混漁されてゐる船成功丸の目醒ましき活動のは不可思議な現象でそのを期待されるは昨報したかと思ふと鮪の網に「かど」が當年の鯉漁期の運速及び鯉が混つてゐるのは

郡内に 範をなすも

郡内に 範をなすも

郡内に 範をなすも

郡内に 範をなすも

郡内に 範をなすも

郡内に 範をなすも

郡内に 範をなすも

からうと語られてゐる。 磐城高女の 音樂會 來二十八日 同校講堂で 磐立磐城高女の校友會では來る二十八日午後零時半から同校講堂に於て音樂會を開催の筈であるがプログラ

警中警女の 入學考査

尋六教科書の内 容に限る 試問

尋六教科書の内 容に限る 試問

進學志望の児童に憐憫な苦惱を見せる中女學校の入學考査期日は曾報したが警中警女に於ける當年の同考査は中等學校長會議に縣當局から指示された如く舊來の試験制度の弊に陥らざる児童の負擔の軽減を計り各科の口頭試問及び筆記試問は何れも尋常六年兒童用教科書の内容に限る常識考査を行ふ筈である

老夫婦が 涙の感謝

平署人事相談 の惠與に對し

平署人事相談 の惠與に對し

石城郡赤井村の赤井畑子澤川瀨炭礦後山夫萩野留三郎(七)假名は去十日縣の許可なく同地内で山雀一羽を捕獲し狩獵法違反で檢擧さる

山雀一羽が 罪

山雀一羽が 罪

山雀一羽が 罪

若先生が鼓をおしらべになつた御座りますと答へたふのを俳諧の句とかひつても老先生の時のやうなさうである此評しと萬歳の事には少々川柳をならべ朝になつて始めて釜の蓋がすが其間に云ふに云はれぬバツと持上る様になつた或者があつて此話を知つてき方が違ひますがおよむのであ、若先生も考先生の居ると此句が一層引立つてらべを願ひます

俳 句

萬 歳 (六)

萬 歳 (六)

こんど考先生が御病氣で

一三三三〇圓 小川江筋の 新豫算 一三三三〇圓

警中警女の 入學考査

尋六教科書の内 容に限る 試問

尋六教科書の内 容に限る 試問

進學志望の児童に憐憫な苦惱を見せる中女學校の入學考査期日は曾報したが警中警女に於ける當年の同考査は中等學校長會議に縣當局から指示された如く舊來の試験制度の弊に陥らざる児童の負擔の軽減を計り各科の口頭試問及び筆記試問は何れも尋常六年兒童用教科書の内容に限る常識考査を行ふ筈である

老夫婦が 涙の感謝

平署人事相談 の惠與に對し

平署人事相談 の惠與に對し

石城郡赤井村の赤井畑子澤川瀨炭礦後山夫萩野留三郎(七)假名は去十日縣の許可なく同地内で山雀一羽を捕獲し狩獵法違反で檢擧さる

山雀一羽が 罪

山雀一羽が 罪

山雀一羽が 罪

若先生が鼓をおしらべになつた御座りますと答へたふのを俳諧の句とかひつても老先生の時のやうなさうである此評しと萬歳の事には少々川柳をならべ朝になつて始めて釜の蓋がすが其間に云ふに云はれぬバツと持上る様になつた或者があつて此話を知つてき方が違ひますがおよむのであ、若先生も考先生の居ると此句が一層引立つてらべを願ひます

俳 句

萬 歳 (六)

萬 歳 (六)

こんど考先生が御病氣で

二町の消防 湯本町と小 名濱に於て

出 初 式

湯本町と小 名濱に於て

湯本町と小 名濱に於て

石城郡湯本町に於ける消防出初式は去る二十二日午前八時同町小學校に於て行はれ規津訓練及び水勢試験の後檜村平署長の訓示講評終つて武蔵殿に慰勞會を催し又小名濱消防組は二十三

二町の消防

湯本町と小 名濱に於て

湯本町と小 名濱に於て

石城郡湯本町に於ける消防出初式は去る二十二日午前八時同町小學校に於て行はれ規津訓練及び水勢試験の後檜村平署長の訓示講評終つて武蔵殿に慰勞會を催し又小名濱消防組は二十三

出 初 式

湯本町と小 名濱に於て

湯本町と小 名濱に於て

石城郡湯本町に於ける消防出初式は去る二十二日午前八時同町小學校に於て行はれ規津訓練及び水勢試験の後檜村平署長の訓示講評終つて武蔵殿に慰勞會を催し又小名濱消防組は二十三

出 初 式

湯本町と小 名濱に於て

湯本町と小 名濱に於て

石城郡湯本町に於ける消防出初式は去る二十二日午前八時同町小學校に於て行はれ規津訓練及び水勢試験の後檜村平署長の訓示講評終つて武蔵殿に慰勞會を催し又小名濱消防組は二十三



促成栽培(二)

灌水と其注意

かくして發芽したならば次の手入を怠つてはならぬ

イ、硝子障子は必ず後側(北側)を上げて置く(床内の空気を更新する爲めである)

ロ、硝子障子の開け方は大抵日中は北側の床の縁へ木片を差入れて一、二寸(必要によつては三、四寸)開ける、高温の時はたとひ夜間、雨天と雖も少し開けて置く必要がある

ハ、硝子障子の上には夜間はこもか古俵をかける(十一月から三月までは三重位にする)このこもは夕方三時乃至三時半頃にはかけてしまふ、朝は晴天の時は午前八時から九時頃とり除くこもは床から二尺位距て、床の周圍へ棒を立て北側と西側へ二段位、三尺おき位に竹を横に結びつけて柵を作り之れにかけて置く、この柵は風除けにもなり又こもを乾すにも便利であるこもは雨天寒冷の時に取り除くがよい(四月頃暖かい日は雨天でも取りのぞく)

子は十日位で發芽するから發芽するまでは床土面を時々見て乾燥してゐる時は如

落で撒水する發芽後は灌水を過ぎぬ様に、大抵二日に一度位、床土に浸み透る程度でよい(三月頃によると毎日行ふこともある)葉が萎れか、つたのは水の不足な爲めであるから灌水する

平町 市原醫院 田町

外科 小児科 梅毒 淋病

電話一三二八番

恐怖時代の
動脈硬化症新藥
豫防及治療新藥
アイヨリ錠

定價 試用 二圓
中瓶 六圓
大瓶 廿圓

發賣以來 白熱的に 歡迎せらるる

特約店 山野邊藥局 平町五丁目

中村式机上毛糸織物講習會

東京技藝學院長 中村吉雄女史
考案者 外助手一名

二月二十八日 午前九時
三月一日 午前九時
三月二日 午後三時迄

金壹圓五拾錢

平町 藤田女學校講堂

一、會場 藤田女學校又は
當日迄 藤田ハシモトヤ糸店へ
一、申込 機械御入用の方は實費頒布一
▲金四圓なすうです
▲毛糸は講習會に用意するも元
より可、古毛糸でも結構です
▲食食は「パン屋」の用紙あり
▲講習完了の御方には修了證書
を差上げます
▲遠方で通學不便の方は當校
寄宿舎を御利用下さい

昭和六年二月 福島縣平町
主催 藤田女學校講習會
電話一三二八番

高島屋の洋服

模範 裁縫

部 オーバー
五圓から
卅圓まで
製 二重廻し
既 七圓以上

注文部は各種破格の勉強

平町藤田前 電話三八六番



募集廣告

一、和洋家具製作見習 五名
一、家具漆器商小役員 三名

本年尋常又ハ高等科卒業者
右御希望者は御來談願ます

本丸ぼん

平町三丁目
電話一三五九

高島屋

賞品高く
質よく
良品揃ひ

平町五丁目

鶴印

特製 最中

大鶴屋菓舗

平町中城 電話九七番

磐城大酒

美味經濟 味経濟美

ヤマロウ醬油

山崎合名會社

電話十番

冬のサロソ

暖房裝置完備しました

暖かい御飲物
暖かい御料理

そして芳醇のカクテルを
洋食通の季節になりました

ドーゾ御來店を

電話三五二番

安流丸

諸毒下しの大妙藥

平町、電話五二三番

外科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

高久病院
院長 醫學士 高久忠

ライト 寫真館

平町盤橋小路
電話五二五番



遠藤活版所

迅速に
丁寧な
親切に

福島縣石城郡平町

電話一七七番